

湘紅会報 2021年12月 第7号

設立 1991年 会員 99名 年 2回発行

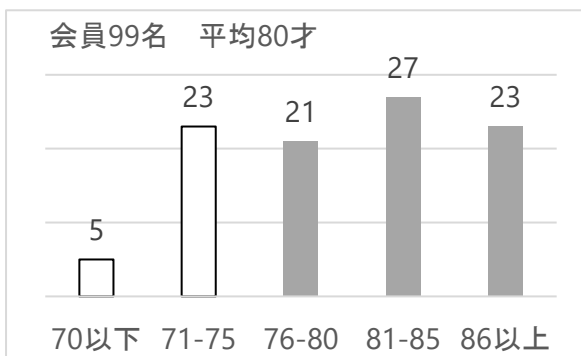
コロナ第五波過ぎ、活動再開

9月末の緊急宣言解除後、徐々に活動を始めた。囲碁部、唄会、酒悦会は有志で。今後のオミクロン株感染状況を注視している。

拡大世話人会 新年の活動方針協議

12月2日拡大世話人会が、鎌倉生涯学習センターで開催され14名が参加した。酒井代表世話人から、湘紅会の現状分析、新年の方針の提言があり、活発な意見交換の結果、下記方向を目指すこととなった。

(グラフ:直近の年代別:褐色は5年後80才以上)



高齢化・会員減: 2010年130名から2021年99名。

湘南地縁と近在メリット を活かす。

方向: 負担軽く、気楽に長く、参加できる活動

課題: 部会ごと検討

部会で活動の緩和、多様化(湘遊会)を検討実行。

会報の充実、新人勧誘

世話人は、活動のエンジン、諸事分担、世代交代を。

年会費の値上げ(500円を1,000円に)

次回総会、コロナ情勢を見ながら、3月開催を目標。

(最終7頁、事務局だより、ご参照ください)

ゴルフ部 冠大会コンペ開催(芙蓉)



12月6日、久しぶりに正式の第146回コンペ開催、14名が参加。優勝は坂本さん gross 86、次いで相田さん、実方さん、倉上さん、杉山さんと続いた。新年は3/16、7/6、9/28、12/7に開催予定。(倉上)

万歩会再開 トライアル・鎌倉(海蔵寺)



10月25日、寿福寺から、海蔵寺、化粧坂、源氏山を経て、銭洗弁天、佐助稲荷まで。松本、青木、酒井、有地、五味田、相田、甲斐、芝崎、田中リカ、宮崎の10名。11-12月は鎌倉市内で。(有地)

湘遊会 近代美術館葉山で香月泰男展



11月3日近代美術館葉山で香月泰男展を鑑賞、一色海岸で、相模湾、伊豆を眺め昼食を楽しんだ。橋本、杉山民、酒井、青山、有地、村上、田中リカ、相田、宮崎の9名。次は丸紅ギャラリー展。(青山)

地域特集

横浜今昔物語

青木 平衛

横浜が歴史に登場したのは1858年（安政5年）日米修好通商条約が締結された時でした。

本来なら東海道の神奈川宿となるはずが、幕府が外国人と地元住民との交流を防ぐため、東海道から離れた埋立地（吉田新田、太田新田）を横浜と決めたといわれ、船で渡る以外なく、陸路は保土ヶ谷宿から大きく迂回しなければ行けませんでした。下図は江戸時代の横浜地図です。青色部分が海で、日ノ出町駅と元町の間を埋立てた地域を「横浜」と見做して良いと思います。



そして、幕府は輸出の主力商品「生糸」の輸送の為に3か月の突貫工事で作ったのが**浜街道「絹の道」**

（八王子～町田～横浜）です。また東海道から横浜港までの道・横浜道「ヨコハマミチ」（今の高島町から桜木町、都橋、吉田橋、横浜港に至る道）は今も横浜市内の幹線道路として使われています。横浜が開港され、関所を設け「**関内**」と呼ばれる地域が生まれました。以来、横浜は文明開化の発祥地として、関内側は欧風の近代建築が立ち並び、ガス灯が街を照らし、西洋式公園の山手公園や横浜公園が、1866年（慶応2年）に横浜港大棧橋が設けられ日本の玄関口となりました。山手地区には外国人が多く居留し、数々の歴史的建物や公園など、異国情緒を感じさせる景観が出来ました。

横浜で発祥したものは、市ガス、ガソリンスタンド、上下水道、鉄道、ガス灯、新聞、煉瓦工場、石鹼工場、食パン、山手テニスコートほか、枚挙に暇ありません。

食物では明治元年に太田なわのれんの「牛鍋」、明治2年、馬車道でアイスクリームが製造販売され、丸善の創始者の早矢仕有的（ハヤシ、ユウテキ）が創作した「ハヤシライス」、明治3年にビールの製造が始まり、ニューグランドホテルのシーフードリアなどが今でも洋食のメニューになっています。

1872年（明治5年）に新橋―横浜（現在の桜木町）間に鉄道が開通されたため本町通りの商業街と弁天通の繁華街、南京町と元町（洋品・洋服・食パン）商店街及び伊勢佐木町が市の中心街を形成していました。

その横浜に小生が生まれたのは昭和7年（1932年）で満州国が建国された年でした。その後、5歳時に支那事変（日華事件から日中戦争）が勃発し、翌年には国家総動員法が制定されるなど我が国が戦時体制を固めてきましたが、市民の生活にはほとんど影響なく生活は穏やか、繁華街の伊勢佐木町には2軒の百貨店（松屋と野沢屋）を始め商店が軒を連ね家族連れの買物客で賑わっていました。

横浜の繁栄が一変したのは1941年の太平洋戦争の勃発で、「鬼畜米英」などの掛け声はまだしも物資、食糧の統制が進み「欲しがりません勝つまでは」と何とも我慢の生活が始まりました。

小学三年の12月に大太平洋戦争に突入。六年になり学童疎開しましたが、1945年3月に中学受験で横浜に戻り、そのまま5月29日の横浜大空襲に遭遇。横浜市内の大半（東神奈川から桜木町周辺、関内、伊勢佐木町、中華街、元町など）の繁華街は灰燼に帰してしまいました。当日朝、中区霞ヶ丘の自宅から県立横浜一中に登校する際、警戒警報が発令、自宅に戻る前に焼夷弾が落下してきました。帰宅後祖母と兄と三人で火の中を走った先は、全て火の海。皆は野毛山公園を目指したが、足弱の祖母とは

無理で横穴壕に飛び込み九死に一生を得ました。壕に吹き込む炎が収まり、恐るおそる外に出たら、景色は一面、灰色と黒。我が家の周りで見た焼死体を今でも、忘れられません。学校も焼け大半の友人を失った中学生の小生は学校にも行けず、焼け跡整理をする毎日で戦時下の日々を過ごしました。



(焼け跡の桜木町から、石川町、山手と海を展望)

敗戦直後の8月30日に占領軍が進駐、税関（三塔物語のクイーン）に連合軍総司令部が置かれマッカーサー元帥がニューグランドホテルに入りました。

総司令部はわずか20日足らずで東京の第一生命ビルに移動したが、マッカーサー元帥はしばらくニューグランドホテルに滞在していたようです。灰燼と化した繁華街は中華街以外、殆ど米軍に接收され、伊勢佐木町の松屋百貨店はPX、不二家は将校クラブになり、メイン通りは小型機の飛行場に、本牧の市街地は米軍兵士の宿舎（かまぼこハウス）や将校家族の住宅地になり、日本人はoff limitでした。その間、庶民の食卓を担ったのは桜木町駅前の野毛の闇市でしたが、昭和25年の朝鮮戦争を機に日本経済復興の兆しが見え、昭和27年（1952年）サンフランシスコ条約が批准されると、徐々に接收解除され昭和30年には松屋デパート、野沢屋（松坂屋）が復活、伊勢佐木町が元の繁華街に戻り始めました。横浜駅は東口が関内、伊勢佐木町、中華街方面へ玄関口で人の往来はありましたが、西口は占領軍の砂利置き場で、1951年（昭和27年）に戦前からの所有者

（スタンダード石油）に返還されたが利用価値無しとして相模鉄道に売却放置され1955年（昭和31年）神奈川国体が開催されたのを契機に西口の整備が始まる頃まで未開発のままでした。この年、相鉄が西口にアーケード商店街（ジョイナスの前身）を設置し、1959年に高島屋ストア（後の高島屋百貨店）が開店、5年後の1961年には駅地下にダイヤモンド商店街が出来、三越百貨店（2005年に撤退）も進出、東急ホテルやシエラトンホテルを始めとする観光施設も整備されるようになりました。

1980年（昭和55年）、開港以来発展してきた関内、伊勢佐木町地域と急発展した横浜駅周辺を中断していた三菱重工横浜造船所（三菱ドッグ）の移転、其の跡地と国鉄貨物支線、高島町操車場の廃止で港湾施設の計186haの土地の再開発事業の新都心計画「みなとみらい21」が策定されました。

みなとみらい21の発展の推移はご存じ通りで1983年（昭和58年）には赤レンガ倉庫の復旧、横浜第一号ドック修復（日本丸の係留地）、1989年に横浜博覧会を開催（大観覧車を中心に遊園施設・稼働中）、横浜美術館オープン、1991年パシフィコ横浜（国際平和会場）及びパシフィコ横浜展示会場が竣工、1993年にランドマークタワーが完成し2002年には横浜大さん橋国際線脚ターミナルを完成するなど着々と観光都市として発展を続けています。

横浜駅西口の再開発に加え、東口にそごうデパートが進出、隣接のベイエリアには日産や富士ゼロックスビル、三井住友ビル、など大手企業、大学、研究機関や高層マンションが林立し、「みなとみらい」エリアと結びついて大規模の都市街を形成するに至りました。一方、横浜の繁華街の中心だった伊勢佐木町商店街は集客力の低下で、路上ライブの「ゆず」で有名な松坂屋や松屋百貨店がともに閉店したため閑散とした街になってしまいました。湘紅会の万歩会は、毎年末に、市内のコースを歩き、中華街で忘年会を開いてきました。これからも、横浜に発展と変貌を見守りたいと思っています。

ゴルフの回想

奥村鑛一郎

実際のゴルフを見たのは程ヶ谷カンツリークラブの旧コースが姉の婚家の近くにあり、外国人がボールをうっているのを見てこれなら自分でもできそうだと思ったのが最初です。

会社に入ってからコースに出てみるとスライスで隣のコースに打ち込み、早く謝に行けなど言われボール探しに行き散々でした。駐在先のメルボルンでもゴルフをよくやりました。日本人会のゴルフ会で、一度雨中の競技で優勝（マツダ杯）したことがあります。そのサンドリガムゴルフコースはパブリックながらインコースにはロイヤルメルボルンが以前所有していたコースもあり、ラフにいれると殆ど脱出不可能なタフなコースでした。一方市内各所には公営コースがあり私の子供も近所の子供同士でクラブを担いでゴルフに行っていました。

知人と休暇にハワイでゴルフをしました。オアフ島コナのゴルフ場で5日間連続9ラウンドプレイしたことがあります。何でこんなにやったのか分かりませんでした。これにはゴルフが何か人を引き付けて止まない魅力（魔力というべきか）があるからだと思っています。それがなんであるか人によっていろいろあるようです。

私の場合は湘紅会ゴルフでもいろんな年代の人とプレイできることで、一見生意気そうな人がゴルフには礼儀正しくかつルールを守る人、またゴルフは“いい加減にやるほうがいい”など思わぬ発言をする人など。その都度新しい見聞が得られそれが私の楽しみとなっています。

この頃は運動を兼ねて七里が浜の練習場に出掛け、たまには女子プロに習っています。若い人には気を使いますが、最近は通りすがりに“ボールの位置をもう少し右に置けばバックスイングが大きくなりますよ”など声をかけてくれます。審判のいないこのスポーツは反面自己を律する心構えが必要であると言われますが、その場になっ

てみて中々そうはゆかず、自分で難しい限りと自覚しています。



体力の続く限り、ゴルフをやりたいと考えています。芙蓉カントリーの親切なキャディーさんから“貴方ならもうあと2/3年は出来ますよ”とお世辞で言われましたが、そうなればエイジシュートも可能かも

しれません。車の免許証がそれまで持ちませんが。

私とトランペット

渡邊義夫

板橋の中学生の時、学校の粋な計らいで、オーケストラのライブ演奏を聴きました。冒頭、オーケストラの楽器の説明と音出しの実演があり、トランペットが会場の体育館全体に響き渡り、一つのトランペットでこんなに大きなしかも綺麗な音を出せるのかと感銘を受けました。私とトランペットの最初の出会いです。

この感激が残っていて、高校入学と同時にオーケストラ部に入部しトランペット担当となりました。一生懸命練習した結果1年後には結構上達し、文化祭でも演奏できる程になりました。モーツアルトの序曲や交響曲、魔弾の射手、ベートーベンのピアノ協奏曲などが記憶に残っております。

東京外国語大学（英米語）に進み、オーケストラ部に入部、英語より音楽に重点を置いていた大学生活でした。同期でスペイン語の村上紹夫君はバイオリンで、コンサートマスターを務め、ハンサムでした。二人は外語大卒業後丸紅に入社、親交は今でも続いています。彼は繊維機械専門で、ダッカとジャカルタに駐在しました。さて大学時代の演奏曲目は一段と幅が広がり、ベートーベン交響曲、モーツアルトの交響曲や序

曲、ハイドンの交響曲、禿山の一夜、シベリウスのカレリアなどを演奏し、今でも懐かしく思い出します。

丸紅入社後 3-4 年は時々トランペットを手にしたが、オーケストラに属さないハンディもあり、仕事も忙しく次第に疎遠となってしまいました。



66 才になった 4 年前、退職後の趣味は、トランペットしかないと一念発起、新品トランペットを購入（写真）、練習を再開したところ、初心者よりはうまく吹け、現在まで、練習を楽しんでいます。トランペット吹きの子守歌や Trumpet Voluntary 等をこなせるようになり、現在かなり

高度な「トランペット吹きの休日」を練習中です。

一人での練習よりも先生に師事して、他の生徒と一緒に演奏したいと思い、3 年前より上大岡のヤマハ音楽教室で週 1 回訓練を受けています。目標の 80 歳まで更に研鑽を継続したいと考えております。

残る人生も楽しく 中塚久一

葉山に引越し 15 年間湘紅会ゴルフ部会のお世話になっております。

コロナ禍は、幹事泣かせですが、バンコック関連のコンペパーオン会が 280 回余続いており、人気があります。要はスコア関係なくパーオンパーをいくつ取ったか自己申告し、会費を取ったパーオンの個数で割り掛けして、1 個あたりの賞金額が決めます。シニアには特別ルールを適用し、限りなく公平に査定します。ご関心があれば、お問い合わせください。さて人生は 100 歳時代、残こされた人生を楽しく過ごす為に、健康、経済力、生きがいは絶対要件。そのため、少子高齢化、

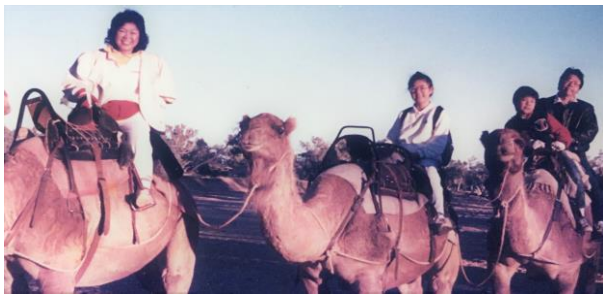
65 歳以上が 25%を越した事情から、年金の受給年齢アップ、又手取り分の減少がありえましよう。意欲或る人は 75 才頃まで、働けるような制度設計に変えるしかありません。幸い商社マンの国際経験、人脈は日本の中小企業にとり人材の宝庫であり引く手あまたの筈です。働くことは、健康にもプラス、私は退職後 24 年間現役続行中であり、公私とも絶好調です。丸紅時代に得た技術と培った人脈、また環境分野に着目、ISO 環境審査員の草分け、また PFI Advisor の称号を得て、新エネルギー、水分野をベースに退職後コンサルタントとして、米国 2 年(世銀新エネルギー開発)、三重県 3 年間ゴミ発電、宮崎県 4 年間鶏糞ベースバイオマス発電に従事、また 2006 年よりタイ国 Amata 社他と産業排水処理および水再生事業のお付き合いをしています。タイの 15 年間、生きがいは、ゴルフを楽しみ Afternoon tea(酒)Play 後午睡とタイマッサージが至上の幸せ、寿命を伸ばしてもらいました。



現役時、環境に恵まれゲーリーブレイア（写真）デビッドレッドベタ、大山志保との出会いがありながら、上達せず、大器晩成を期し仲間と楽しく、前向きに、あきらめず継続あるのみです。

ジョンズ・ホプキンス大学、細菌学世界的権威者の Bonni 博士によると、ここ数年間はコロナウイルスとの共生が人類の宿命であり、人々は出来るだけ外出し良い空気を吸って免疫力を付けることを推奨、どこかの国の指導と大違いです。私は野外の Golf は免疫力を付けるスポーツとして続けております。みなさま残りの人生は悔なく楽しく明るく生き抜きましょう。岸田新総理には日本再生を期待して。

エアーズロック駱駝ツアー 芝碓暉夫



メルボルンに赴任して2年目、豪州大陸の臍と言われるエアーズロックへ家族旅行をしました。そこは原住民アボリジニの聖地で彼らの言葉でウルルと呼ばれます。世界で2番目に大きな一枚岩の赤茶けた小山で、高さは385m。岩に穿たれた鎖を頼りに登るのですが、とつきの麓には銅板が埋め込んであって、「誰それが何年に、ここで死す」と刻印されたメモリアルプレートでした！植物が生えてない饅頭型の岩山ですから滑落したら一卷のおわりなのです。今はアボリジニの聖地なので登山は禁止になってるようです。アリススプリングスという最寄りの街で泊まります。ウルル観光をおえてアリススプリングスのホテルに戻った時、帳場に「camel tour」のパンフがあったので予約しました。

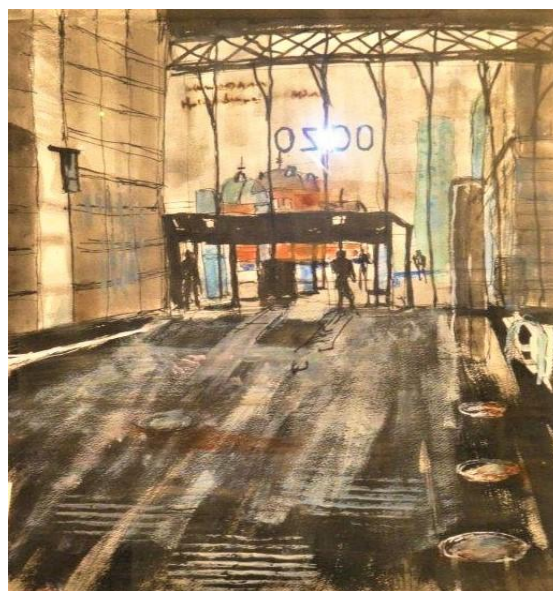
翌朝ホテルの前に、鞍を付けた10数頭の駱駝がべたべたと座り込んで待機してました。かつて豪州では人の移動や物資輸送の為、駱駝を中東から持ち込んでいたようです。その後、鉄道や車が普及して駱駝は不要となり野に放たれて野生化しました。それをもう一度捕まえて牧場で調教しなおして駱駝ツアーをやっているのです。ガイド氏が鞭をふるって駱駝に声をかけますと駱駝はよっこらしよっと、まず後ろ脚を起こしついで前脚を立てて立ち上がります。後ろ脚を立てた時、駱駝がかなり前かがみになるので乗り手はしっかり鞍に掴まってないとつんのめって、前方に投げ出されかねません。立ち上がると、馬よりかなり背が高いので遙か先まで見通しがききます。ゆっくり歩き出すと駱駝の蹄は丸くて大きい所為かクッション性がよく、大股でゆったり歩いてくれるので至極乗り心地がよいのです。プッシュ・ライディングを30

分ほど楽しむと休憩地があって、一旦駱駝から降り、用意された焚火の周りの切り株に腰かけます。ガイド氏がパンを焼き、ポットで沸かした紅茶とともに野趣あふれる朝食を供してくれました。帰路は皆、慣れてすんなりホテルの前まで帰りました。なかなか楽しい体験でした。

湘紅ギャラリー



逗子マリーナから富士 榎原 等



丸の内 OAZO の風景 奥村鑛一郎

事務局便り 相田康宏

事務局連絡先 yaita1947@nifty.com

訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

松永茂岐様 6月 藤沢市 享年 87才

津森信也様 7月 横浜市 享年 80才

小島 宏様 8月 鎌倉市 享年 83才

宮内貴正様 8月 横浜市 享年 81才

洲脇啓太様 11月 鎌倉市 享年 82才

会員消息 退会者 1名、会員数 99名

会費値上

拡大世話人会で、年会費 500 円を 1,000 円への値上が議題になり、事務局より、会の収支見通しを説明しました。年会費 500 円は、長年据置きでした。近年会報を年二回発行、当初メール配信を検討しましたが、多くの会員は紙印刷郵送を希望され、この印刷製本郵送費が嵩み、早晚会計は赤字となる見通し。コロナ下で、交流ツールの会報発行継続と値上をご承認いただきました。会員の皆さまには、この事情をご理解いただきご了承のほどお願い申し上げます。

総会

3月に宴会開催が最善ですが、コロナ推移が見通せず、年初に会場予約は困難、宴会できるまで延長か、会議形式とするか、3月開催を目標としました。



(12月2日拡大世話人会 鎌倉生涯学習センター きらくら)

湘紅俳壇 令和三年秋

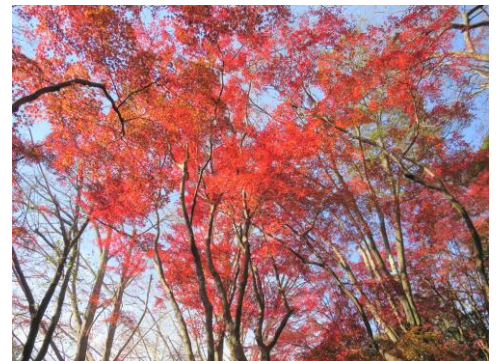
少しまだ青みを残し麦の秋
日傘なかピアスの光る伊達男
新蕎麦や亡き母に似たひとのゐて
岡崎誠之助

向日葵に留守番頼み伊豆の湯へ
酔芙蓉ときめくことは生きること
岡崎誠之助

原知廣

あとがき

鎌倉獅子舞の紅葉 万歩会 12月



活動再開に先輩の参加が目立ちました。万歩会トライアル鎌倉に松本さん、青木さん、湘遊会葉山展

に橋本さん、ゴルフ会に奥村さん、お元気で何よりです。

以前一大勢力だった酒悦会、愚生も二次会組でした。現メンバーは少人数ながら、山椒は小粒でピリリと辛口の酒豪揃い、呑みっぷりが羨ましい。

万歩会と、落語・美術・歌舞伎に、音楽など多様化検討中の湘遊会、楽しみです。碁会、唄会、春が待ち遠しいことでしょう。

体調、身の回り、年寄の暮らしは、何かと不具合になります。寒くなる季節、くれぐれもご自愛の上、おげんきにお過ごしください。 よいお年を。

2021年12月

編集人 酒井尚平